



平成26年 6月18日

海上保安庁

世界初！！ビジュアル航海安全情報の提供を開始 ～文字情報を地図に載せてビジュアル情報へ進化～

これまで海上保安庁では船舶交通の安全を確保するため、航海上危険な漂流物や新たに発見された浅瀬の情報など緊急に周知が必要な情報をインターネットなどにより文字情報で提供していました。

平成26年6月18日からは、文字情報を地図上に図示したビジュアル情報をインターネットで提供します。

ビジュアル情報により利用者は視覚的に容易に危険海域などを把握することができ船舶の航海安全に役立つことが期待されます。（別図1、2参照）

【背景】

「3・11」東日本大震災では、地震津波により多数の航路標識が倒壊、流出、大量の漂流物が発生したため、膨大な数の航行警報が発出されました。

利用者にとっては、文字により発せられた航行警報の位置や範囲を海図に転記する作業が煩雑となり、重要な情報を見落としてしまうケースも懸念されました。

このため、毎日更新した航行警報をインターネットで図示して提供したところ、利用者から「分かりやすい」「利用しやすい」と好評を得ました。

海上保安庁では、この経験を活かし航海安全情報をインターネット上にビジュアル掲載するシステムを構築し、日本が世界に先駆けて提供を開始するものです。

【利便性】

- ① ビジュアル化により危険箇所の把握が容易
- ② 位置確認のための海図転記作業が少なくなることによる誤認防止
- ③ 複数の情報の中から期間を指定することにより、その間の有効な情報の表示が可能
- ④ 自船の位置を入力することにより、危険海域内外の把握が一目瞭然
- ⑤ 利用者が個々に必要とする範囲の拡大・縮小が可能、さらに印刷も可能
- ⑥ 針路上において、予め危険海域を把握でき、自船に必要な情報だけ入手

【航海安全情報の種類】

水路通報・管区水路通報

航行警報（日本航行警報、NAVAREA XI 航行警報、NAVTEX 航行警報、地域航行警報）

【利用者】

民間：船舶、船舶会社、各水先区水先人会等、報道機関

官公庁等：防衛省、外務省、自治体、教育機関、宇宙航空研究開発機構（JAXA）、

海洋研究開発機構（JAMSTEC）、石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）

【インターネットでの利用方法】

利用環境：インターネットエクスプローラーのバージョン9以上が必要

検索方法：海上保安庁 HP トップ画面⇒海の安全・基礎知識の下にある[航行警報](#)をクリック⇒[ビジュアル情報](#)をクリック↓↓↓すると下の画面になります。

The screenshot shows a web browser window displaying the "水路通報・航行警報 位置図 ビジュアルページ" (Visual Page of Waterway Notices and航行警報). The page includes a navigation menu with options like "中心座標", "海域選択", and "緊急・重要情報表示設定". A map of the Western Pacific region is shown, with a red circle indicating a volcanic eruption warning for Iwojima (西之島). A pop-up window provides details for the warning:

[日本航行警報]
西之島、噴火警報
番号:14-1631 発表日時:2014年06月11日 14時
11日14時観測 11日14時00分発表
噴火警報
全航海上予報区
火山名:西之島
位置:北緯27度14.6分 東経140度52.7分
噴火による影響が及ぶおそれ 周辺海域警戒
上記位置を中心とする半径6キロメートルの海域で噴火に警戒。
(1561削除)

[NAVAREA航行警報]
西之島、噴火警報

At the bottom of the page, the coordinates are given as: カーソル座標 緯度: 北緯 37度23分02.5秒 / 経度: 東経 156度58分56.7秒.